

秩父鉄道株式会社 安全報告書 2024



1. 経営責任者からのメッセージ
2. 輸送の安全に対する基本方針と安全目標
3. 安全管理体制と方法
4. 輸送の安全への取り組み
5. 安全確保のための教育・訓練
6. 鉄道事故等に関するご報告
7. ご利用のお客様、地域の皆様とともに

1. 経営責任者からのメッセージ

「安全報告書2024」の公表にあたって

日頃より、秩父鉄道をご利用いただき誠にありがとうございます。安全報告書2024の公表にあたり、ご挨拶を申し上げます。

2023年度は5月に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5類へ移行し、沿線においても、一定程度の人流回復が見られたものの、諸物価の上昇などにより、引き続き厳しい経営環境となりました。

このような中、営業面では、鉄道の魅力を活かした体験型イベントの開催や夜行貸切列車の運行、各種記念乗車券類の発売など、積極的な旅客誘致に取り組みました。これらにより、定期・定期外旅客の人員及び収入は前期に比べ増加いたしました。

また、輸送の安全性向上を図るため、設備面ではマイクロ無線局更新工事、長瀬停車場連動装置更新工事や秩父停車場の木柱のコンクリート柱化などを実施するとともに、異常時訓練や警察・消防機関との共同訓練の実施、安全指導による従業員の意識向上に取り組みました。

当社は、鉄道事業を柱として事業展開しており、公共交通機関としての「安全・安心・安定」を維持できる事業者であることが使命であり、輸送の安全、無事故無災害の達成を最優先課題に掲げております。この課題の達成に向け、引き続き、全役員・従業員が、安全に対し常に意識を持ち業務にあたるとともに、近年頻発・激甚化する自然災害などに対応すべくソフト・ハード両面における取り組みを更に強化してまいります。なお、第4種踏切道の安全対策につきましても、2024年4月25日公表の「第4種踏切道対策について」に基づき進めてまいります。

この安全報告書は、2023年度における取り組みや輸送の実態を中心に皆様に紹介しております。ぜひご一読いただき、忌憚のないご意見、ご感想をお聞かせいただければ幸いです。



秩父鉄道株式会社
代表取締役社長 牧野英伸

2. 輸送の安全に対する基本方針と安全目標

(1) 安全に関する基本方針

安全第一の意識をもって事業活動を行える体制の整備に努めるとともに「安全・安心・安定輸送」を提供するため、「安全基本方針」を定め、「安全行動規範」は社員等の安全に関する基本行動として徹底しております。

「安全基本方針」

- ① 「安全最優先」が鉄道事業の最大かつ最重要の根幹であることを認識し、一致協力して輸送の安全確保に努めます。
- ② 輸送の安全確保に関する法令、規程を遵守し、誠実に職務を遂行します。
- ③ 安全管理体制を適正に運用し、維持・向上に努めます。

「安全行動規範」

- ① 一致協力して輸送の安全の確保に努めます。
- ② 輸送の安全に関する法令及び関連する規程をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行します。
- ③ 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めます。
- ④ 職務の実施にあたり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取り扱いをします。
- ⑤ 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとります。
- ⑥ 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保します。
- ⑦ 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦します。

(2) 安全目標

さまざまな安全性向上施策に取り組むため「安全基本方針」「安全行動規範」を遵守し、社内に安全風土、安全文化を構築、確立し、安全最優先の原則を遵守します。

“スローガン”

安全輸送を第一義とし、「運転事故0・インシデント0」

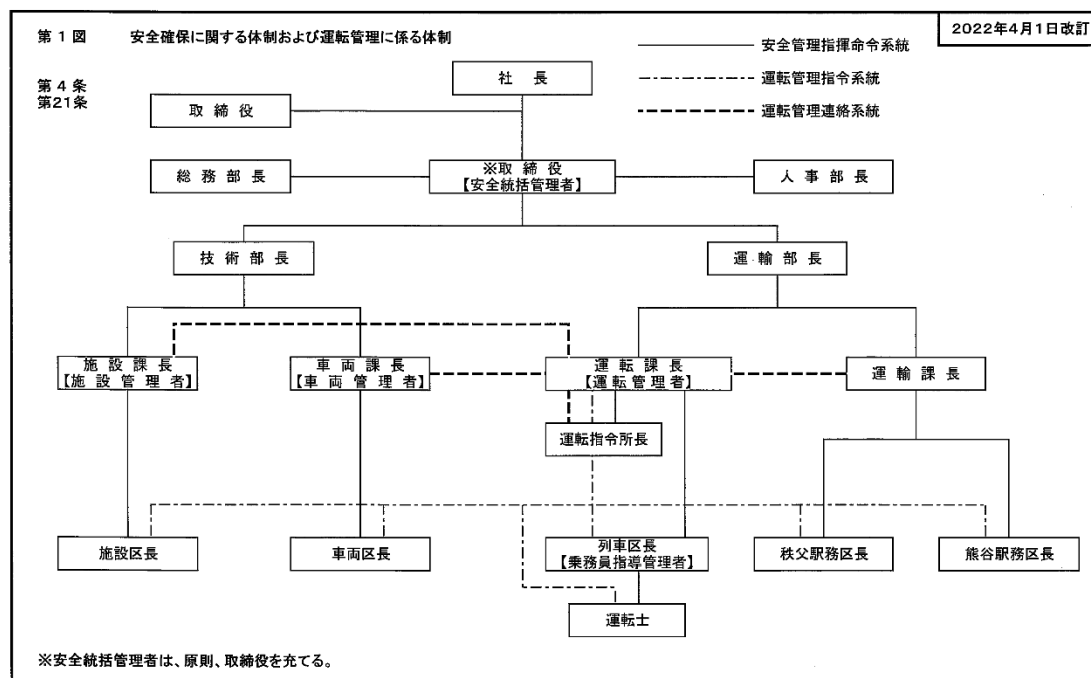
3. 安全管理体制と方法

(1) 安全管理体制

2006年10月1日に制定された「秩父鉄道 安全管理規程」では、社長を最高責任者とし、社長が選任した安全統括管理者のもと、安全推進の管理体制を確立し、各管理者の役割と権限を明確に定めております。

役 職	役 割
社長	安全第一の意識をもって事業活動を行える体制の整備に努めるとともに、輸送の安全を確保するための最終的な責任を負う。
安全統括管理者	輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
技術部長	安全統括管理者の下、施設、車両に関する業務を統括する。
運輸部長	安全統括管理者の下、運転に関する業務を統括する。
運転管理者	安全統括管理者の指揮の下、運転に関する事項を統括する。
乗務員指導管理者	運転管理者の下、運転士の資質の保持に関する事項を管理する。
施設管理者	安全統括管理者の指揮の下、施設に関する事項を統括する。
車両管理者	安全統括管理者の指揮の下、車両に関する事項を統括する。
総務部長	輸送の安全の確保に必要な設備投資、財務に関する事項を統括する。
人事部長	輸送の安全の確保に必要な人事に関する事項を統括する。

(組 織 図)



① 運転事故防止対策委員会

輸送の安全確保を目的として、安全統括管理者を委員長とする「運転事故防止対策委員会」を毎月1回開催しています。この委員会では、事故、災害等が発生した際の対応と処置の検証、ヒヤリハット報告事案の分析、事故防止に関する事項の議論、再発防止策の立案と決定を行っています。



② 職場巡視

社長、役員、各部課長は、夏季運転無事故運動や年末年始輸送安全総点検の期間中に各職場を訪問し、安全に関する取り組みや創意工夫について各所属員と直接対話を行います。これにより、安全性の向上と一人ひとりの安全意識の高揚を図っています。



夏季運転無事故運動



年末年始輸送安全総点検

③ 内部監査

鉄道輸送における安全管理体制が構築され、適切に運用し継続的に機能していることを確認するため定期的に実施しております。

4. 輸送の安全への取り組み

2023年度も列車運行の安全確保・維持と改善、および旅客サービスの向上を目指し、安全対策や修繕工事を実施しました。これらのうち主な取り組みについてご紹介いたします。

安全重点施策

2023年度の安全対策工事と主な修繕費

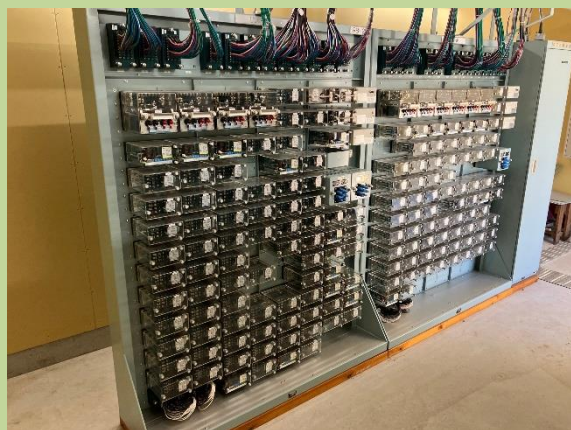
安全対策更新工事	449,085千円
主な線路修繕工事	138,705千円
主な電気修繕工事	28,268千円
主な車両修繕工事	12,837千円
計	628,895千円



(1) 2023年度の安全対策工事

施設関係

① 長瀬駅連動装置更新工事



駅構内の列車進路構成を安全に確保するため、信号機と転てつ器の動作を適切に保つ目的で連動装置を更新しました。

② 木柱のコンクリート柱化工事（秩父駅構内）

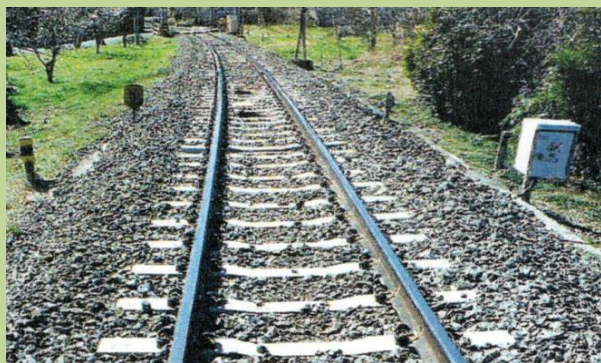


経年劣化した木柱9本のうち7本をコンクリート柱に交換し、添架していたケーブルの地中化を行いました。

③架線の張替

摩耗や経年劣化が進んだ吊架線 1 4 5 0 mの張替えを実施しました。

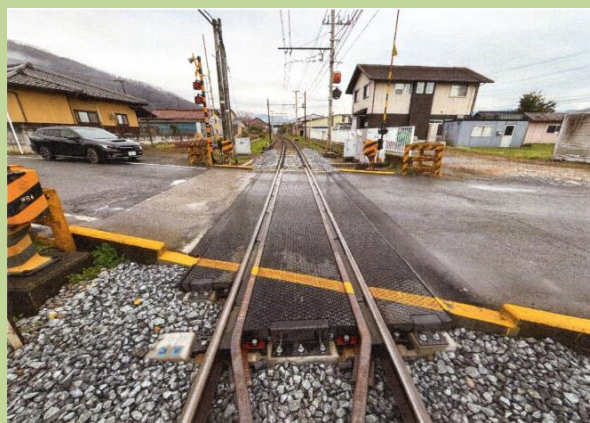
④並・分岐・橋・継目枕木更換



軌道の強化を目的としてPC化を推進し、軌間拡大や軌条のふく進、軌道変位を防止し、安全性を長期にわたって維持するため、経年劣化した並枕木、分岐枕木、橋枕木、継目枕木 2 7 4 6 丁（内 1 8 2 5 丁 P C 枕木化）の交換を実施しました。

⑤踏切道の改良工事（騒音・振動の軽減）

ゴムの弾性によって衝撃を吸収し、騒音・振動の軽減を図るため、踏切板を専用の PC 枕木で支持する構造に改良しました。これにより、大型自動車が通行可能な KG 式弾性構造踏切へと改善いたしました。



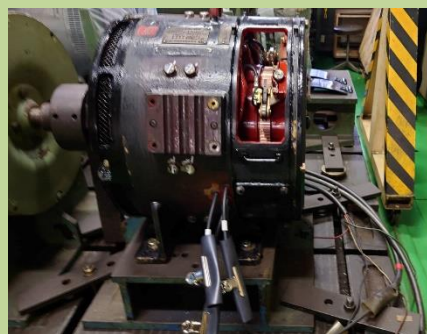
KG式弾性構造踏切に改善した石原No.9踏切道（左）と皆野No.3踏切道（右）

車両関係

電気機関車主電動機絶縁更新工事（4両）、蓄電池更新（1組）、空気圧縮機用電動機絶縁更新（1台）を実施いたしました。



電気機関車主電動機絶縁更新



空気圧縮機用電動機絶縁更新

5. 安全確保のための教育・訓練

(1) 現業職場における各種訓練

夏季運転無事故運動や年末年始輸送安全総点検などの期間中には、異常時を想定した訓練を実施しています。また、乗務員に対しては経過年教習を実施し、施設や車両関係の係員には鉄道技術講座の受講や他事業者へ出向いての講習会などを通じて、知識の向上を図っています。



伝令法施行訓練（駅務員）



電気転てつ器取扱い訓練（駅務員）



中間連結器取付け訓練（乗務員）



単独乗務1年経過教習（乗務員）



単独乗務3年経過教習（乗務員）



信号保安装置勉強会（施設係員）

（２）災害復旧訓練・テロ対策訓練

この訓練は、大規模災害(地震)時の負傷者救出訓練及びG 7 広島サミットを控えテロ対策訓練を熊谷警察署・熊谷市消防本部と合同で実施しました。負傷者救出訓練では熊谷市内で震度 6 強を観測する地震が発生した影響で、走行中の 3 両編成の先頭車両が脱線し停止し、3 0 人程度の負傷者が出ているとの想定で、旅客の避難誘導、救出方法(トリアージ)を学ぶとともに警察・消防が線路内に立ち入る場合の車両の危険個所を説明することにより災害復旧時に警察・消防・鉄道の諸活動が円滑に遂行することを目的として 4 月に実施いたしました。テロ対策訓練は、不審者が車両基地内に侵入し、爆破物の恐れが高いかばんを放置して逃走したとの想定で実施し、不審者を発見した車両区長が 1 1 0 番し、警察が現場に急行。周囲の状況確認後、危害を抑止するための爆破物防護カバーを設置し、爆破物処理隊の到着まで被害を最小限に抑える流れを確認しました。



災害復旧訓練・テロ対策訓練

（３）防災訓練

毎年 9 月 1 日の防災の日や防災週間には、大規模な地震が発生した際を想定して、旅客列車の運転を一齐に停止させ、関係各所に確実な情報を伝達し、震度階の判明に基づく列車の減速運転や、橋梁・法面などの施設・設備点検が安全に行えるよう訓練を実施しています。

2 0 2 3 年度は、九都県市防災訓練のスケジュールに合わせて 9 月に実施しました。



情報伝達訓練



施設・設備点検

6. 鉄道事故等に関するご報告

2023年度に発生した「鉄道運転事故」「輸送障害」「インシデント」の発生件数は、以下のとおりです。

「鉄道運転事故」 3件（全て踏切障害事故）

列車衝突事故、列車脱線事故、列車火災事故、踏切障害事故、道路障害事故、鉄道人身障害事故、鉄道物損事故をいいます。（自殺と思われるものは、鉄道運転事故に含まれません。）

「輸送障害」 11件（うち自然災害その他7件）

列車の運転を休止したもののまたは30分以上の遅延を生じたものをいいます。

「インシデント」 0件

運転事故が発生する恐れがあると認められた事態をいいます。

7. ご利用のお客様、地域の皆様とともに

（1）サービス介助士資格の取得

社会の高齢化が進む中、多くのお客様に対して安心して鉄道をご利用いただけるよう、職員のサービス介助士資格の取得を推進しております。2023年度までに、駅係員、列車乗務員、その他職域を含む106名が資格を取得いたしました。

（2）AEDの設置

お客様の急病等万一の事態に備え、羽生、熊谷、明戸、武川、永田、ふかや花園、小前田、寄居、長瀬、秩父、御花畑駅にAED（自動体外式除細動器）を設置しております。

（3）こども110番の駅

鉄道を利用して通学や学習塾などに通うお子さまを危険から守り、より一層安心して駅を利用していただく環境作りと地域への貢献を目的として「こども110番の駅」の取り組みに羽生、熊谷、武川、寄居、長瀬、秩父、御花畑、影森、三峰口の9駅にて参加しております。

（4）埼玉県防犯のまちづくりに関して

「埼玉県防犯のまちづくりに関する協定」に基づき、こどもや高齢者等を犯罪から守るための見張り活動、犯罪や不審者認知時の積極的な110番通報等について更なる協力を行うために次の取り組みを宣言しております。

◇駅（事業所）に助けを求めてきた場合に保護、110番通報等の対応を行います。

◇社用車を運転中に犯罪を認知した場合に110番通報等の対応を行います。

秩父鉄道路線概要図

営業キロ
 秩父本線 羽生～三峰口駅間 71.7km
 三ヶ尻線 三ヶ尻～武川駅間 3.7km
 } 75.4km

高崎

JR高崎線

上越新幹線

JR高崎線

三ヶ尻

羽生

東武伊勢崎線

東武東上線

至八王子

至池袋

至山梨

至東京

西武秩父

西武秩父線

至池袋

秩父本線(旅客駅)

秩父本線(貨物駅)

三ヶ尻線(貨物駅)

他社線(在来線)

他社線(新幹線)

<https://www.chichibu-railway.co.jp/>